

令和5年度障がい者支援施設南富良野からまつ園事業実績報告書

第1 総括

令和5年度は、法人理念を基本とした個人の尊厳と人権を尊重し、ご利用者一人ひとりの状態に応じた適切な支援サービスと安全で快適な生活環境の提供に努めています。職員一人の資質向上に向けては、体系的な研修の機会を確保し、必要なスキルと知識が習得できる研修計画を企画するなど、人権侵害や不適切な支援防止の強化に向けて取り組んで参りました。新型コロナウイルス感染症では、感染予防委員会が中心となり、集団感染を想定した対応訓練や法人各事業所間で情報共有を行うことで、ご利用者で感染者は確認されましたが、これまでの経験を活かすことで集団感染には至りませんでした。引き続き、重症化リスクの高い方が利用されている入所施設として、今後も十分な感染予防対策を徹底し、ご利用者とご家族のご協力を仰ぎながら拡大防止に努めて参ります。

人材確保に向けては、学生に合ったカリキュラムの見直しとマニュアル化を進め、各大学や専門学校から介護福祉士、社会福祉士、保育士を目指す学生を積極的に受入れを行い、南富良野中学校の総合学習(福祉)に職員を派遣するなど、福祉の仕事と当事業所の雰囲気魅力を魅力として伝えております。

一方、国際的な原材料費の高騰や円安の影響で厳しい経営状況ではありましたが、予算管理の徹底と節電・節水等、経費を削減すると共に算定可能な加算を適切に請求する事で事業運営の維持に努めました。

また、令和6年度も障がい福祉サービス等報酬改正に伴う運営基準を遵守した安定的な財源確保とコスト意識の向上に努めると共に、職員の負担軽減と支援サービスの向上を目指し、円滑にICT事業を導入するための検討や強度行動障害を有する方々への支援体制の充実など地域の皆様方の期待と信頼に応える事業所として積極的な役割を果たして参ります。

なお、令和5年度は、次の事項を重点に取り組みました。

1 虐待防止と身体拘束の適正化の取り組みについて

虐待防止の取り組みとして、3ヶ月毎に虐待防止・支援向上自己チェックリストによる自己点検を実施、その結果を集計し、集計結果の分析や考察等を行って、その内容を全職員に周知しています。身体拘束等の適正化のための取り組みとして、身体拘束等の発生状況の把握、考察等を3ヶ月毎に行い、その内容を職員に周知しました。

2 支援サービスの質の向上について

自閉症や行動障がいに関する専門的な知識や手法について、その都度ケースカンファレンスや事例検証を行うことで職員間の共通理解と認識を深め、ご利用者及びご家族の希望に沿った個別支援サービスの充実に努めました。また、ご利用者とのコミュニケーションを重視した意思表示の創意工夫、意思を尊重する専門性の高い支援サービスを実践しました。

3 感染症と災害対策の強化について

新型コロナウイルス感染症の5類移行後も重症化リスクを抱えるご利用者の健康を守るため、感染予防委員会を中心に高い意識で感染対策を維持に努めることで、集団感染の発生を防ぎました。また、自然災害対策を含めた対応マニュアルや事業継続計画(BCP)を適切に運用できるように訓練と研修を重ね、常に最新のマニュアルの整備に努めました。

4 特定技能者など多様な人材確保・定着と業務効率化について

人材の確保と定着率の向上のため、職員の負担軽減と業務省力化など働き方改革を推進すると共に有給

休暇の取得促進や残業時間の管理など、やりがいをもって働き続けられる職場環境の構築に努めました。また、令和5年7月にインドネシア人の特定技能者5名を第2期生として採用するなど、地域における多文化共生を推進するうえでも幅広い人材活用に努めました。

5 計画的な改修・施設整備と予算管理の徹底について

ご利用者が安全、安心で快適な施設利用ができるように施設の保全管理と快適な環境確保に向けて、施設内外の設備の点検やメンテナンスに努めました。また、算定可能な加算の請求は、体制を整備することで予算を確保し、備品や消耗品等の在庫管理や節電・節水など予算管理の徹底に努めました。

第2 運営組織（令和6年3月31日現在）

1 職員配置状況

区 分	園 長	総務部	支援部	短時間	計
男 性	1	4	21	2	28
女 性		2	20	14	36
計	1	6	41	16	64

第3 ご利用者の状況（令和6年3月31日現在）

1 各ユニットの男女別状況

区 分	もりのまち	ほしのまち	はなのまち	にじのまち	計
男 性	24	35			59
女 性			19	16	35
計	24	35	19	16	94

2 年齢別

区 分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最小 年齢	平 均
男 性	1	4	6	20	16	5	7	83歳	18歳	49.9歳
女 性	0	1	6	8	7	5	8	88歳	28歳	55.6歳
計	1	5	12	28	23	10	15			52.1歳

3 障がい別

区 分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	ダウン症	身体 障がい	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	内部疾患	言 語 障がい	強度行動 障がい
男 性	14	26	0	5	4	1	0	0	1	27
女 性	12	7	2	1	4	1	1	0	1	16
計	26	33	2	6	8	2	1	0	2	43

4 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男 性	0	0	0	5	16	38	59	5.56
女 性	0	0	0	1	8	26	35	5.71
計	0	0	0	6	24	64	93	5.62

第4 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

主として昼間において、ご利用者の排泄及び食事等の介護、日常生活上の助言や相談、支援を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会の提供、身体機能の生活能力の維持・向上のための援助等を行いました。

(2) 施設入所支援事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

主として夜間において、ご利用者の入浴、排泄及び食事等の介護・支援、日常生活上の助言や相談、支援等を行いました。

(3) その他の事業

相談支援事業 (計画相談)	相談支援事業所「ふらっぶ」において、ご利用者の意思及び人格を尊重し、ご利用者の立場に立って計画相談支援を行うとともに、ご利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、総合的かつ効率的に提供するよう配慮しました。
社会生活実習	卒業後を意識した生活環境や集団生活を体験するため、養護学校高等部3年の男子生徒2名を受け入れ、必要な助言や支援を行いました。うち1名は3月に入所しました。

2 運営方針の内容

(1) 総務部・総務課

運営の基礎となる適正且つ組織的な財務管理を実施し、ご利用者の生活環境及び職員の労働環境向上を図るとともに、感染症及び災害等に対する体制を強化し、安全・安心な施設経営を推進しました。

健全な経営と財務規律の確立	社会福祉情勢の現況を的確に把握し、健全経営を基本として適正な財務管理、計画的な予算執行等を進め、他事業所との経営意識の統一及び共有化を図り、安定した協力体制の下、経営基盤の安定化と強化を図りました。
透明性のある事務処理と適正な請求事務の遂行	会計、経理等の事務処理について透明性を重視しながら各々の業務区分の下で連携を図り、迅速に取り進めました。また、介護給付費及び各種加算等の収入を最大限に回収できるよう、2024年度の大幅な報酬改定も含めて情報収集し、事業運営の方針等を策定しました。
建物・設備等の計画的な保全管理	建造物や備品の破損等に対応し、施設の管理及び維持を図りながら定期的な保全整備を進めました。また、予算や事業の遂行状況の下、計画的に補修、工事等を実施しました。
福利厚生事業の充実	職員の定期健診や成人病予防検診、各種予防接種、ストレスチェック等を実施し、心身の健康管理に努めました。また、福利厚生に関する活動を助成し、親睦会の活動と併せて活気ある職場づくりに努めました。
安全で楽しい食事サービスの提供	委託業者と連携を図り、衛生管理の向上と感染症対策を徹底し、安全面を十分に考慮したうえで、季節感のある献立による家庭的な食事サービスを提供しました。併せて、非常時に際し、常時三日分以上の食事を提供できるよう計画的な非常食の管理を行いました。
栄養マネジメントによる適切な栄養管理の実施	個々の摂食、嚥下機能や心身の状況等を把握し、看護師や支援員等との連携のもと、食形態等について個別に対応を図りました。 また、栄養ケア計画作成及びスクリーニングを実施し、全職員の共通認識のもと、適正な栄養管理と健康維持及び増進に努めました。
業務の効率化及びスリム化の推進	継続的に事業を進めるため、経営基盤の強化や効率化、人材の確保や育成を目的に、他事業所と連携を図りながら業務のスリム化は図りました。また、ご利用者に安全な福祉サービスを提供し、効率的なサービス提供と職員の業務軽減化を進めるため、ICTの活用等の検討を進めました。

事業継続体制の確保	感染症関連も含めて事故や災害等の際、ご利用者及び職員で共有認識が図れるよう、各種訓練の実施やマニュアルの確認を行い、備品等の適正な管理を行い、必要に応じて補完や更新、整備を進めました。
地域での公益的な取り組み	地域の福祉的ニーズを把握し、事業所の有する設備や専門性を活用し、関係機関と連携しながら地域の福祉課題、生活課題の解決を図りました。また、地域での総合教育や福祉専門職養成等に関して主体的・積極的に取り組み、地域社会、社会全体の福祉力向上及び共生の実現に協力しました。

(2) 生活支援部・生活支援課

ご利用者の重度・高齢化の急速な進行に対応するため、一人ひとりの状態やニーズに即応した生活環境の調整と最良の福祉サービスを提供していくため、生活支援部内の協力体制を強化していくと共に職員の資質向上と人材育成に努めました。

つきましては、次の事項を重点に取り組みました。

権利擁護と虐待防止の徹底 身体拘束の撤廃	ご利用者の人格と人権を尊重した支援サービスを推進するため、虐待・権利擁護に関する関係法令を熟知し、意思疎通が困難な方にも多様なコミュニケーション方法を活用するなど合理的配慮に努めました。また、虐待防止委員会を毎月開催すると共に、年3回のサービス向上アンケート調査結果を基に研修会を企画し、人権意識のさらなる向上に努めました。例外的な身体拘束に関しても指針に基づいて身体拘束適正化委員会を開催し、早期廃止するために議論しました。
人材確保・利用定員の充足	やりがいをもって働き続けられる職場環境を構築するため、上司と部下との育成面接や年次有給休暇5日の確実な取得、シフト調整による時間外労働の削減など働き方改革を実践し、人材の確保と定着に努めました。また、利用定員の充足を目指し、行政機関や学校等と調整し、3月に高等養護学校を卒業した18歳男性が新たに入所しました。
職員の資質と専門性の向上	専門職として一人ひとりの個性や障がい特性やニーズや課題を把握し、親切・丁寧なサービスを提供できる人材の育成に努めました。また、オンラインやデマンド研修を活用し、強度行動障がい支援と介護技術の向上と虐待防止や意思決定支援、リスクマネジメント等を意識した専門性の高い支援を実践しました。
個別支援計画とサービスの質の向上	適切な生活習慣の確立と社会生活への適応性を高められるように、ご利用者のご家族の意向を尊重した個別支援計画を策定しました。また、看護師、栄養士等を含めたケース会議や半年に1回以上モニタリングを実施し、重度・高齢化に即応したご利用者一人ひとりに安心・安全できめ細やかな支援サービスを提供しました。
日中活動・余暇支援の充実	活動支援課が中心となって個性やニーズ、自主性に合わせて日中活動を企画し、高齢・重度者の身体機能や認知機能の低下予防や健康増進につながる個別活動も実施し、残存能力の維持・増進に努めました。また、新型コロナウイルスの「5類」移行に伴い、感染対策を講じながらスポ・レク交流会、ふれあいフェスタ、外出行事等の規模を見直して再開しました。
健康の保持・増進	ご利用者の健康状況の把握と体力維持・向上に努め、協力医療機関と連携して、定期健康診断および各種検診を実施しました。また、歯科医師の指導に基づいて重度・高齢化に伴う咀嚼、嚥下機能の低下を防ぐ、口腔ケアや機能訓練の充実に努めました。

<p>栄養管理の充実</p>	<p>栄養マネジメントの評価やニーズを踏まえ、食事の場所、食事形態、摂取カロリー量等を見直しながら提供しました。また、嗜好調査を参考に四季折々の行事食を取り入れ、美味しく、楽しく、食べやすい、季節感あふれる食事の提供に努めました。</p>
<p>QOLの向上 住環境の充実</p>	<p>合理的配慮が講じられるように潜在的ニーズの把握に努め、プライベートの時間が楽しめる居室インテリアの調整や安全に配慮した家具の配置、身体機能に応じた工夫等を積極的に取り入れました。また、ご利用者のニーズに迅速に対応するため、インターネット通販や出張販売の利用促進を図りました。</p>
<p>自立に向けた支援 の推進</p>	<p>障がい程度に応じて可能な限り地域生活に移行できるよう意思決定支援の充実を図り、自立生活体験や就労に向けて自己選択できる環境と機会を提供し、男女8名のご利用者が、自立訓練ホールふらっぷでグループホームの体験実習を行いました。</p>
<p>自治会活動の 活性化</p>	<p>あおぞらの会及び利用者生活委員会の運営をサポートし、委員会や意見箱から寄せられた日中活動の内容や行事、タイムスケジュール等に対する感想やご意見を徴収しました。特に委員会を通じて、行事内容や献立に関する意見を反映させることで自治会活動の活性化を図りました。</p>
<p>感染予防対策 マニュアル・BCP の効果的な運用</p>	<p>令和4年度に培った集団感染の教訓を活かし、感染対策マニュアルとBCP（事業継続計画）を常に最新の内容に更新することで、新型コロナウイルス集団感染を未然に防ぐことが出来ました。また、感染予防委員会を中心に職員及びご利用者への感染症に関する指導・教育の他、必要物品やワクチンの確保など関係機関との調整に努めました。</p>
<p>防災・防犯対策の 強化</p>	<p>消防や役場防災監の指導のもと、定期的に火災避難訓練、救命講習、自然災害研修を実施し、災害発生時にご利用者・職員が迅速な対応が取れるようマニュアルやBCPの改善に努めました。また、防犯意識の向上と防犯設備の点検、不審者の対処方法の習得を目的に6月に駐在所長を招いて防犯に関する研修会を開催しました。</p>
<p>事故の未然防止 リスクマネジメント</p>	<p>ヒヤリハットや過去の事件事例等の情報を職員間で共有し、特に致命的な事故に繋がる「転倒・誤嚥・誤薬」を未然に防止するため、リスクマネジメント手法に則り再発防止策を講じました。また、ヒューマンエラーの原因となる見落としや思い込み、情報伝達ミス、単独での安全確認等を無くすため、組織全体でルールへの遵守に対する意識の向上を図りました。</p>
<p>特定技能者の定着 とスキルアップ</p>	<p>外国人福祉人材が、職場に定着するように悩みや困り事を気軽に話せる相談窓口を設け、緊密なコミュニケーションを心掛けながら公私共にサポートを継続しました。さらに日本語学校と連携して学習会を行うことで、1期生2名が見事に日本語能力試験N3に合格しました。令和5年度も7月に第2期生5人を受入れ、第1期生から学んだ教訓を活かし、母国文化や信仰する宗教を尊重しながら、早期に日本の生活習慣と職場環境に慣れるよう、業務マニュアル、研修体制、日常生活をサポートする体制を維持しました。また、第1期生に対しては、公共交通機関の利用、居住環境や信仰への配慮などQOL向上をサポートすることで人材の定着に繋がりました。</p>

I C T利用促進による業務効率化の推進	業務の効率化と組織全体で情報共有と共通認識を図るため、タブレット端末やインカムの導入に向けての議論を進めました。また、紙媒体の削減、I C Tの利用促進、支援やその他の業務に関する情報をよりスピーディーに伝達するため、より安心して効率的な職場環境の構築について議論を重ねました。
S N Sを活用したP R活動の推進	施設の支援サービスや行事、余暇支援の状況などをホームページや広報誌を活用し、P Rすることで施設の透明化を図りました。また、S N SやP R動画を活用して、ご利用者の入所希望や職員の就職にも興味・関心が高まるよう職員のS N S活用技術の向上を図りました。
学生実習・ボランティア等の受け入れ	保育士、介護福祉士、社会福祉士等の学生実習やボランティアを感染対策を講じながら積極的に受け入れ、次世代の人材育成を担うとともに中学生の総合学習、就職説明会等に職員を派遣し、障がい福祉への興味・関心を広める取り組みを推進しました。

① 生活介護事業

ご利用者一人ひとりに適した支援サービスの提供をするため、ご本人及びご家族の意向に基づいて生活介護サービスの内容を精査し、安心と安全を基本にした各種サービスと活動プログラム等を提供しました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活および社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、排泄、入浴、移動、整容、歯磨き、衛生、服薬、居室内清掃、衣類整理、相談、情緒の安定等を行いました。
居住環境の整備	定期的に清掃を行い、快適な環境（安全・清潔）の保持に努めました。
定期巡回	体調確認、行事連絡、話題提供を行いました。
行動障がい者への支援	個別支援計画に基づいて行動を予測し、生活環境と他者との関係性を考慮しながら支援を行いました。また、意思疎通の仕方やスケジュール等の提示方法を必要に応じて見直しました。
高齢者への支援	高齢に伴う身体機能や認知機能が低下したご利用者に個々に応じた支援・介護・見守りを行いました。また、必要に応じて歩行器、車イス等の提供、見直しを行いました。
健康状況の把握	A D Lや運動機能の他、バイタルサイン、体重、口腔、皮膚、精神状態などを観察し、体調の変化や異常の把握に努めました。

◇活動支援課◇

個々のニーズや特性に応じた日中活動を提供し、健康維持・増進を図り、生きがいを感じられるサービス提供しました。

活動支援第1係

創作活動	創作活動	各種行事、アート展への出品を目指すことで創作意欲の向上を図りました。
	演芸活動	各種施設内外の行事で披露するダンス、演芸につながる活動を行い、身体を動かす機会を設けました。
療育	スヌーズレン	心地良い感覚刺激により、リラックス効果や喜びを得るために療育室で個別に行い、情緒の安定を図りました。

	構造化支援	認識度合いに応じた設定を行い、手順を構造化することで、作業可能な範囲を広げる支援を行いました。
	IADL 向上	主に自閉症スペクトラム症の方に対し、買い物の手順をパターン化することで、自律意識を向上に努めました。

活動支援第2係

生産活動	屋外活動	花壇整備、施設周囲の環境整備、豆製品化、除雪、こぞくら園の農産補助作業等から作業手順の構築につなげます。
	屋内活動	食器洗い、食堂・洗面所清掃、施設内清掃、ゴミ出し（リサイクル）等の一連の流れを認識し、作業意欲向上につなげました。
元気班	健康維持・増進活動	軽運動、屋内外散歩、歩行機能訓練、体操、風船バレー、雪中運動等で体力増進を図ります。また、かるた、トランプ、日光浴、花苗プランター管理、各種レクリエーション等で機能維持を図りました。
	生きがい活動	カラオケ、動画視聴、パズル、編み物、ビーズ通し、音楽鑑賞・演奏活動、ボールペン組立、塗り絵・スクラッチ、その他個別の趣味や興味に合わせた余暇活動により、ADL、IADLの維持向上を図りました。

◇健康支援課◇

関係医療機関等との連携を図り、疾病の早期発見・早期治療に努め、心身共に健康で豊かな生活が送れるように支援しました。また、各種感染症の流行に対して、必要な知識や技術の習得を目的とした研修会等を実施し、施設内における感染予防対策の徹底に努めました。

健康管理	健康管理全般、医療的な処置、薬剤管理、摂食・嚥下調査
通院支援	各診療科目における定期通院、必要に応じた通院同行支援、往診介助
検診支援	歯科検診、定期健康診断、胃がん検診、婦人科検診
予防接種	新型コロナウイルス、インフルエンザ等の予防接種等
感染予防対策	<p>新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関する知識と技術の習得を目的とした研修会を実施しました。 ・感染防護具の着脱、ゾーニングの基礎知識と実践、嘔吐物処理等 ・各種感染予防マニュアル、BCPを現状に応じて改正しました。 ・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査～事業所独自の検査も含め一年を通じて週1回実施しました。 ・新型コロナワクチン接種～春（6月）・秋接種（10月）を実施、ご利用者・職員共に希望者は全員接種しました。 ・インフルエンザ予防接種～11月実施、ご利用者・職員共に全員接種しました。

◇地域企画調整科◇

ご利用者の地域生活移行に向け、単身生活や社会活動、就労等の体験できる機会を提供し、地域生活のイメージ形成と自立支援の意欲促進に努めました。また、ご利用者の希望を反映した余暇活動や季節感のある行事について、新型コロナウイルスの感染予防対策に準じて企画し、個々の趣味活動の醸成と楽しみのある生活を提供しました。

施設外訓練	一般事業所での訓練者に対して、訓練中の訪問や個別面接を通じてご利用者の就労スキルの向上とニーズの把握に努めました。
施設内訓練	日常の関りを通じてご利用者のニーズを把握し、施設内で取り組める清掃等の機会を設けることで自立意識の向上に努めました。
法人・3事業所 合同イベント	新型コロナウイルス感染対策を講じながら、スポ・レク交流会、花火大会、ふれあいフェスタ等の規模を見直したかたちで実施しました。スポ・レク交流会はご家族の観覧を再開しました。
町内イベント	新型コロナウイルス感染対策を講じながら規模を縮小して湖水まつりに参加しました。福祉スポーツ大会、神社祭は開催自体が中止しています。
余暇活動	新型コロナウイルス感染対策を講じながらドライブや外出、映画鑑賞、味覚祭り、スポーツ観戦等を企画し、ご利用者に余暇を楽しむ機会を提供しました。
地域生活移行支援	個別支援計画書に基づいて自立訓練ホーム「ふらっぷ」を活用した地域生活体験を実施しました。また、新型コロナウイルス対策を講じながら料理教室、避難訓練、GH見学を実施することで、ご利用者の地域移行に向けた意識の向上を図りました。
その他	障がい者週間記念事業を障がい3事業所で企画・立案し、映画上映会やご利用者と職員に対し、権利擁護・虐待防止研修会を実施しました。また、町内各事業所へのポスターの掲示、作品展示など啓蒙活動に努めました。

◇ご利用者自治会の支援（あおぞらの会）◇

意見交換や地域の情報提供を行い、ご利用者の意思を確認しながら、主体的に各種事業や計画立案等の活動ができるように側面から支援しました。

利用者生活委員会	利用者生活委員会議において、意見交換やサービス評価を行い、その内容を職員に周知しました。
事業計画の立案	事業計画の立案、実施に関するサポート（総会、クリーン作戦、クリスマス会、お楽しみ会、感染予防研修会、虐待・権利擁護研修会、防犯教室等）
情報提供	ポスター・資料づくり
自動販売機の運営	清涼飲料水の販売
総会・役員会の開催	総会・役員会の準備、運営
誕生会の協力	誕生会プレゼントの助成
施設内清掃活動	清掃チェック、大掃除の協力
施設外清掃活動	地域でのクリーン作戦
地域奉仕活動	除雪ボランティアへの参加、リングプルの回収

◇家族会の支援（家族会事務局）◇

家族会と連携し、家族会事業の円滑な運営を事務局がサポートしました。また、会員相互の親睦を図ると共に定期総会、役員会等の企画や運営について協議しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら役員会は自立訓練ホーム「ふらっぷ」にて開催し、定期総会は南富良野町総合福祉センター「みなくる」にて4年ぶりに通常開催しました。

② 施設入所支援事業

主に夜間において、入浴、排泄、食事等の支援、生活等に関する相談及び助言、その他必要な日常生活上の支援を行いました。

日常生活での支援	起床、就寝、睡眠、更衣、食事、排泄、歯磨き、衛生、服薬、相談、情緒の安定、必要に応じて移動介助と見守り等を行いました。
ホームルーム	体調確認、行事連絡、話題提供、地域情報提供を伝達しました。
就寝前支援	寝具確認、トイレ誘導、おむつ交換等を行いました。
定期巡回	居室内温度調整、体調確認を行いました。
行動障がい者への支援	施設の生活環境と施設外での行動を予測した場面での情緒の安定につながる個別支援を提供し、他のご利用者の危険回避も併せて行いました。
高齢者への支援	高齢に伴う身体機能や認知機能が低下したご利用者に個々に応じた支援・介護・見守り・居室等の環境調整を行いました。
健康状況の把握	食事、排泄、睡眠、運動機能の他バイタルサイン（検温・血圧、呼吸機能）、体重、口腔、皮膚、精神状態などを観察し、体調の変化や異常の把握に努め、必要に応じて医療機関に受診しました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
北海道社会福祉協議会	支援員	2人
日本・北海道知的障害福祉協	園長	2人
北・北海道知的福祉協会	園長・支援員	6人
その他	支援員・看護師	27人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	延参加職員
新任者研修	法人合同研修 1回 (4月) からまつ園内部研修 2回 (4月、6月)	令和4～5年度採用職員対象
内部研修会	法人合同研修 5回 (9月、11月、12月(2回)、2月) からまつ園内部研修 随時 (職員会議、委員会等で毎月開催)	延べ90名参加 全職員対象(短時間勤務職員含む)
階層別研修	法人合同研修 5回 (5月、7月、8月、11月、1月)	延べ44名参加

4 年間行事実績

令和5年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。

令和5年度 主要事業等報告書

月	日	期 間	内 容
4月	1日(土)		辞令交付式 (吉村仁志支援員、郡司聖夜支援員、名古屋亜友支援員、 武上由佳看護師 入職) 北海道知事・議会議員選挙期日前投票
	10日(月)		産業医巡視
	13日(木)		ご利用者・職員前期健康診断
	20日(木)		南富良野町議会議員期日前投票
	22日(土)		緑陽台歯科検診
	27日(木)		あおぞらの会総会 誕生会
	28日(金)		夜間職員緊急招集訓練
5月	2日(火) ・4日(木)	2日間	春のお楽しみ会(花見外出・映画上映会等)
	8日(月)		産業医巡視
	12日(金) ・13日(土)	2日間	町内花苗即売会
	13日(土)		第1回法人施設見学会
	15日(月)		第1回理事協議会
	16日(火)		からまつ園家族会役員会
	18日(木)		春の環境整備の日(グラウンド石拾い)
	22日(月)		法人決算監査
	23日(火)		誕生会
	25日(木)		からまつ園・こざくら園合同火災避難訓練
6月	6日(火)		町外外出①(富良野方面)
	9日(金)		ふらっぷ自立訓練(男性ご利用者3名・火災避難訓練等)
	12日(月)		第1回理事会 産業医巡視
	13日(火)		ふらの三番館出張販売
	14日(水)		曹友会演奏会
	15日(木)		町外外出②(帯広方面)
	17日(土)		第2回法人施設見学会
	22日(木) ・26日(月)	2日間	ご利用者・職員 新型コロナウイルスワクチン接種
	27日(火)		定時評議員会 第2回理事会
	29日(木)		障がい関係事業所合同防犯訓練 誕生会
7月	1日(土)		第40回スポ・レク交流会 家族会定期総会
	7日(金)		南富良野高校生来園(学校祭・パフォーマンス披露)
	10日(月)		産業医巡視
	12日(水)		南富良野中学校2年総合学習講師派遣(鈴木課長)
	13日(木)		町外外出③(富良野方面) 特定技能実習生5名入職 (アレクサンダー支援員、ノヴァリア支援員 キラニ支援員、リングア支援員、デスティ支援員)

月	日	期 間	内 容
7月	14日(金)		特定技能実習生歓迎食事会(きつねうどん)
	15日(土)		経専北海道保育専門学校こども学科実習受入(2名)
	~28日(金)		
	18日(火)		パークゴルフ大会参加ご利用者壮行会
	18日(火)	35日間	桑島正一さん 富良野協会病院入院
	~8月21日(月)		
	19日(水)		道北福祉協会パークゴルフ大会参加
	20日(木)		特定技能実習生・辞令交付式 誕生会
	25日(火)		昼食会(焼肉バイキング)
	29日(土)		かなやま湖湖水祭観覧
	31日(月)		チャリティープロレス(北都プロレス)観戦
8月	9日(水)		水害想定職員夜間緊急招集訓練
	14日(月)	4日間	夏期一時外泊期間
	~17日(金)		
	14日(月)	5日間	名寄市立大学社会福祉学科SW実習受入(3名) ※事業所内・新型コロナウイルス感染者発生のため中断
	~18日(金)		
	15日(火)		夏のお楽しみ大会(スイカ割り・映画鑑賞等)
	18日(金)	15日間	職員・ご利用者新型コロナウイルス感染者発生(施設内) に伴う感染拡大対策実施及び感染者等健康観察期間
	~9月1日(金)		
	23日(水)	20日間	桜田淳子さん 富良野協会病院入院
	~9月11日(月)		
	29日(火)		誕生会
9月	4日(月)	2日間	つつじが丘学園・起田翔太さん 施設体験実習
	~5日(火)		
	4日(月)		名寄市立大学社会福祉学科SW実習再開(3名)
	~25日(月)		
	11日(月)		産業医巡視
	14日(木)		セレクトメニュー(お弁当)
	16日(土)		ふれあいフェスタ 合同花火大会
	20日(水)		ご利用者・胃がん検診
	20日(水)	14日間	尾森典子さん 富良野協会病院入院
	~10月3日(火)		
	21日(木)		ユニット企画(にじのまち・軽食提供等)
	26日(火)		水害想定避難訓練
	28日(木)		誕生会 新型コロナウイルスワクチン接種(7回目)①
	29日(金)		第3回理事会
10月	2日(月)		新型コロナウイルスワクチン接種(7回目)②
	11日(水)		馬場雅人さん 北の峰病院退院
	12日(木)		ふらの三番館出張販売
	16日(月)		旭川福祉専門学校こども学科1年保育実習受入(2名)
	~28日(土)		
	17日(火)		ふらっぷ自活訓練及び避難訓練
	18日(水)		エキノコックス検診
	19日(木)		火災想定避難訓練
	19日(木)	23日間	尾森典子さん 富良野協会病院入院
	~11月10日(金)		
	23日(月)		産業医巡視

月	日	期 間	内 容
10月	24日(火)		誕生会
	26日(木)		秋の味覚祭り(焼き芋提供)
	30日(月)		旭川大学短期大学こども学科1年保育実習受入(1名)
	~11月11日(土)		
	31日(火)		ハロウィンパーティー
11月	2日(木)		ご利用者・職員 後期定期健康診断 インフルエンザ予防接種①
	5日(日)	6日間	南幌養護学校3年宮内裕雅さん 施設体験実習
	~10日(金)		
	6日(月)		インフルエンザ予防接種②
	9日(木)		南富良野町 多文化共生推進事業(特定技能実習生等)
	14日(火)		道北福祉協会 すずらの会(オンライン)
	15日(水)		ご利用者 婦人科検診
	16日(木)		非常食提供訓練 雪害想定停電訓練
	21日(火)		秋のお楽しみ会(映画鑑賞会・ドライブ)
	21日(火)	18日間	矢野政一さん 富良野協会病院入院
	~12月8日(金)		
	27日(月)		産業医巡視
12月	5日(火)		障がい者週間記念事業・表敬訪問 障がい関係事業所ご利用者自治会合同座談会 権利擁護研修(ご利用者対象)
	7日(木)		法人定例監査
	12日(火)		クリスマススイーツ提供(シュトーレン・グリュウワイン)
	14日(木)		救急救命講習
	18日(月)		産業医巡視
	19日(火)		クリスマス会
	25日(月)		第5回理事会
	26日(火)		誕生会
	28日(木)		ユニット企画(ほしのまち・軽食提供等)
	31日(日)		カレンダー市
1月	1日(月)		新年を祝う会 初詣
	2日(火)		新春柑橘風呂
	6日(土)	4日間	冬季一時外泊日(旭川・十勝方面等)
	~9日(火)		
	7日(日)		南富良野町二十歳を祝う会 (ご利用者 石川翔梧さん、キラニ支援員出席)
	25日(木)		昼食会(鍋料理提供) あおぞらの会 新年お楽しみ会(映画鑑賞会)
	30日(火)		誕生会 文化交流会(特定技能実習生・ご利用者)
2月	3日(土)		節分豆まき
	14日(水)		名寄市立大学社会福祉学科1年生SW実習受入(4名)
	~23日(金)		
	15日(木)		法人研究発表会
	19日(月)		産業医巡視
	22日(木)		バイキング食(フレンチビュッフェ) 町内除雪ボランティア従事 地震想定災害訓練

月	日	期 間	内 容
2月	27日(火)		南富良野高等学校除雪ボランティア来園 誕生会
	28日(水)		第5回理事会
3月	3日(日)		桃の節句を祝う会
	5日(火)		甘酒提供
	7日(木)		法人定例監査
	11日(月)		産業医巡視
	19日(火)		誕生会
	21日(木)		第6回理事会
			宮内裕雅さん 入所
	26日(火) ・27日(水)	2日間	昼食会(出来立てうどん等提供)
	29日(金)		第2回評議員会
	31日(日)		退職者辞令交付 太田幸華支援員 退職